

くろべ 黒部ダム

P



Ver.1.0 (2011.11)

DAM-DATA

所在地：富山県中新川郡立山町戸餅寺
河川名：黒部川水系黒部川
型式：ドーム型アーチ式コンクリートダム(本体)
+重力式コンクリートダム(ウイングダム)
ゲート：バルブ放流設備(ハウエルバンガーバルブ)×5門
頂部余水吐(ゲートなし)×10門
堤高・堤頂長：186m(国内1位)・492m
総貯水容量：1億9,930万m³
管理者：関西電力(株)
本体完工/完成年：1956/1963年



詳しいデータはこちら

ランダム情報

戦後の深刻な電力不足を背景に秘境・黒部峡谷に挑んだ“くろよん(黒部ダム、黒部川第四発電所の総称)”の建設は、世紀の大事業として今も語り継がれている。中でも困難を極めた雄略帯との格闘は、石原裕次郎主演の映画「黒部の太陽」に描かれたことでも有名である。昭和31年から始まったくろよん建設は、実に7年の歳月と当時の金額で513億円の巨費。そして延べ1,000万人もの人手によって、昭和38年6月に完成した。

こだわり技術

黒部ダムでは、下流の黒部峡谷の自然景観への配慮から、季節と時間を定めて一定量の放流(観光放流)を行っている。放流用バルブには、ダム直下の岩盤への衝撃を少なくするために、水を霧状にして放流することができるハウエルバンガーバルブを採用している。日本一の高さを誇る堤高186mのドーム型アーチダムから最大15m³/sの霧状の水が虹を描いて落下する光景は壮観であり、年間約100万人が訪れる黒部ダム観光の一番の見所となっている。